

民生委員・児童委員へのアンケート調査結果（速報値）

令和3年7月～8月に実施した民生委員・児童委員（主任児童委員を含む）を対象にしたアンケート調査結果の主な概要は、次のとおりです。

なお、最終的には確定値をもとに報告書を作成する予定です。

1 回答数

3,777人（令和3年5月末現在の実数：4,088人）（回収率 92.4%）

2 民生委員・児童委員に対する質問項目

○担当地区におけるひきこもり状態にある方の有無

「いる」831人（22.0%）、「いない」2,946人（78.0%）

※ ひきこもりの事例は、1,270ケース。

○「いる」と回答した方・ひきこもり状態にある方の把握方法（複数回答）

ア 「近隣住民からの情報提供（相談）」	49.7%
イ 「その他」	25.0%
ウ 「各世帯の見守りや安否確認時」	22.7%
エ 「当事者の家族からの相談」	13.8%
オ 「関係機関からの情報提供」	7.9%

○連携している関係機関（複数回答）

ア 「特になし」	19.6%
イ 「地域包括支援センター」	15.7%
ウ 「社会福祉協議会」	12.8%
エ 「市役所・町役場」	10.7%
オ 「学校（スクールカウンター等含む）」	5.7%
カ 「ひきこもり地域支援センター」	5.6%

○ひきこもり支援で困っていること（複数回答）

ア 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」	26.1%
イ 「当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」	23.1%
ウ 「当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない」	11.9%
エ 「当事者や家族からの相談に対して適切な対応がわからない」	9.8%
オ 「身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない」	
「相談・支援に至るため、長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる」	各 7.4%

○ひきこもり支援のために必要と考える施策（複数回答）

ア	「相談窓口の充実」	33.8%
イ	「相談窓口の周知・PR」	30.1%
ウ	「専門的な医療支援・カウンセリング」	22.3%
エ	「ひきこもり支援に関する地域の理解促進」	21.5%
オ	「居場所づくり」	20.5%
カ	「家族支援」	20.0%

○ひきこもりの状態から社会復帰した人

「知っている」228人（6.0%）、「知らない」2,740人（72.5%）
「無回答・不明」809人（21.4%）

3 ひきこもり状態の方に関する質問項目（1,270事例）

○性別：「男性」70.9%、「女性」20.9%、「その他」0.2%、「不明」8.0%
※男性が女性より圧倒的に多い。

○年齢：「15～19歳」4.6%、「20～29歳」8.4%、「30～39歳」16.7%、
「40～49歳」23.4%、「50～59歳」16.6%、「60～69歳」9.1%、
「70歳以上」6.6%、「不明」14.6%
※若者層（15～39歳）29.7%、中高年層（40歳以上）55.7%

○家族構成：「父母」58.3%、「単身」20.9%、「兄弟姉妹」14.6%

○外出状況

ア	「普段は家にいるが近所のコンビニ等に買い物には出かける」	29.9%
イ	「自室からは出るが家からは出ない」	15.4%
ウ	「普段は家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」	15.4%
エ	「自室からほとんど出ない」	5.1%
オ	「その他」	11.9%
カ	「不明」	23.5%

※「狭義のひきこもり」（ア、イ、エ）50.4%、「準ひきこもり」（ウ）
を足すと「広義のひきこもり」65.8%

○ひきこもりの状態になってからの期間

「1年未満」1.4%、「1～3年未満」6.5%、「3～5年未満」6.5%、
「5～10年未満」10.4%、「10～20年未満」19.1%、
「20～30年未満」8.9%、「30年以上」4.2%、「不明」43.1%
※「5年以上」が42.6%

○ひきこもり状態になった経緯・きっかけ

- ア 「人間関係がうまくいかなかった」 14.4%
- イ 「不登校」（小・中・高校・大学等） 10.8%
※小学校時 1.7%、中学校時 3.1%、高校時 2.0%、大学等時 0.3%
- 不明 4.8% （複数回答があるため、合計不一致）
- ウ 「職場になじめなかった」 8.7%
- エ 「病気」 6.5%
- オ 「就職活動がうまくいかなかった」 4.2%
- カ 「不明」 52.7%

※就労関係（ア、ウ）で19.3%

（複数回答があるため、合計不一致）

○現在の支援状況

- 「受けている」 8.6%、「受けていない」 26.6%、「不明」 62.8%
- 「その他」 2.0%

○支援の希望の有無

- ア 「本人も家族も希望していない」 16.3%
- イ 「家族のみが希望」 4.6%
- ウ 「本人と家族が希望」 1.4%
- エ 「本人のみが希望」
- 「その他」 各 1.3%
- オ 「不明」 75.0%

○必要な支援策

- ア 「専門的な医療支援やカウンセリング」 8.7%
- イ 「就労支援」 7.5%
- ウ 「訪問支援」 7.2%
- エ 「相談窓口の充実」 6.9%
- オ 「家族支援」 6.8%
- カ 「居場所づくり」 5.7%
- キ 「不明」 70.0%

○普段、自宅でよくしていること

- ア 「テレビ」 11.1%
- イ 「インターネット」 7.6%
- ウ 「ゲーム」 6.5%
- エ 「家事」 3.8%
- オ 「その他」 2.8%
- カ 「不明」 78.0%

○普段、通信手段に利用しているもの

ア	「電話」	11.3%
イ	「メール」	4.6%
ウ	「SNS」	2.1%
エ	「不明」	84.7%

○普段、悩み事を相談する相手

ア	「父母」	10.7%
イ	「誰にも相談しない」	4.6%
ウ	「兄弟姉妹」	4.3%
エ	「友人、知人」	1.5%
オ	「その他」	1.3%
カ	「支援者（カウンセラー等）」	1.0%
キ	「不明」	77.4%